

# 〈嵐牛・友の会〉会員募集

—原本で嵐牛たちの俳句を味読してみませんか—

幕末期、掛川に生まれた伊藤嵐牛は家業のかたわら俳諧を嗜(たしな)み、発句とともに門人や俳友たちと詠(よ)んだ連句を沢山のこしました。それらを記した書籍(写本・刊本)や墨跡(掛け軸ほか)は、現在も市内八坂の拙宅内〈嵐牛蔵・らんぎゅうぐら〉に襲蔵されています。2002年からホームページでバーチャルミュージアム〈嵐牛蔵美術館〉を立ち上げてその概要を紹介し、昨年(2021)の8月2日(土)～10月12日(日)には掛川市立大東図書館において掛川市教育委員会・俳文学会東京例会と共催で特別展「ふるさとの俳人嵐牛とその仲間たち—芭蕉から十湖まで—」を催し、主要な襲蔵資料を展示致しました。お陰様で市内外から多数のご来場を得、ご好評を頂きました。改めて厚く御礼申し上げます。

私どもと致しましては、その特別展をもって終わりとするのではなく、さらに襲蔵資料を活かすため、専門家の方々にお願ひし、資料集の刊行準備を進めております。ついでには、地元有志の方々(ご支援)を頂くためと同時に、嵐牛とその仲間たちがのこした作品に活字と原本とで親しんで頂き、それを契機に伝統文化・郷土文化への理解を深め、ご自身の創作・文化活動にもつなげて頂けるよう、この4月から〈嵐牛蔵美術館・友の会〉、略称〈嵐牛・友の会〉を立ち上げることに致しました。別掲の規約・会則・例会要項をご参照の上、ふるって入会、ご参加下さいますようお願い申し上げます。

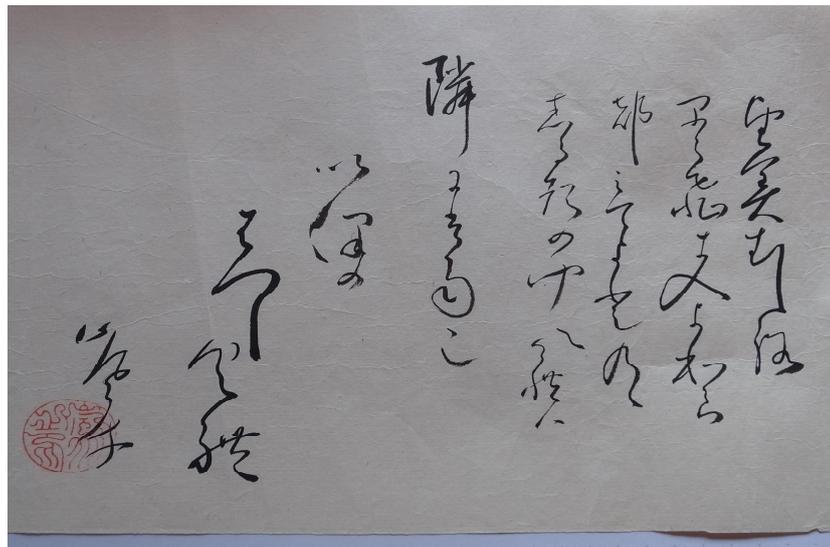
平成27年早春

嵐牛蔵美術館 伊藤鋼一郎 謹識

〔入会受付ほか問合せ〕 携帯 090-1472-2972、Eメール [takumise@titan.ocn.ne.jp](mailto:takumise@titan.ocn.ne.jp)

— 嵐牛自筆懐紙 —

もみむしろ、早々ひき入よ  
わらつみてよと、のゝしる  
声の聞へければ  
隣には雨也 いほの  
はつしぐれ 嵐牛(印)



2015/04/01

### 嵐牛蔵美術館友の会【規定】

会の呼称——「嵐牛蔵美術館友の会」（略称「嵐牛・友の会」）

会長——伊藤鋼一郎 436-0004 掛川市八坂 434-1 (株) 工設計内 携帯 090-1472-2972

事務局 幹事——伊藤英子 同上 Eメール [takumise@titan.ocn.ne.jp](mailto:takumise@titan.ocn.ne.jp)

FAX 0537-27-0440

同 幹事補佐——倉島利仁（静岡学園高校教諭）

顧問——加藤定彦（立教大学名誉教授）

規約——本会は〈嵐牛およびその仲間たち〉の作品を公刊・顕彰し、広く伝統文化・郷土文化の理解とその発展・普及を目的とします。

#### 会則

- 1) 会員は〈嵐牛およびその仲間たち〉の作品・資料集の公刊を支援します。  
※冊数—3冊 各冊 300 ページ平均 300 部限定 実費頒価 1 万 5 千円（予定）
  - ①伊藤嵐牛とその仲間たち—俳諧資料編(倉島利仁・加藤定彦担当)
  - ②石川依平の和歌・和文—国学資料編(高松亮太担当)
  - ③伊藤嵐牛とその仲間たち—評伝・図録編(倉島利仁・加藤定彦・高松亮太担当)刊行年次—2017 年度～2019 年度 毎年度①～③の順に予定
- 2) 会員は年 1 回の嵐牛蔵美術館ほかの見学実習（※）と月例会に参加します。  
※伊藤家において、会長と講師の案内・説明により実地に嵐牛関係の書物や墨蹟などを拝観します。  
※2 年目以降は、適宜、掛川市内や近隣の図書館および寺社・個人宅に襲蔵される嵐牛や依平らの書画・墨蹟類を見学・調査し、最終年度に報告書をまとめます。
- 3) 嵐牛らの作品を読解・鑑賞した文章を各自が執筆・入力し、資料集刊行完結の 2019 年度に④「嵐牛とその仲間たち—俳句鑑賞編」を自費出版します。約 300 ページ、300 部予定。  
※講師が原稿に目を通し、必要な場合には諒解を得て手を入れます。  
費用は執筆のページ割および買い上げ冊数で分担します。
- 4) 「友の会だより」を年 4 回発行し、会員および図書館など公共施設に配布します。  
※A 3 版両面コピーを二つ折 4 ページ。E メールでは PDF 版も配信します。原稿の執筆・入力・複写は事務局と講師で分担し、随時、会員も執筆します。
- 5) 年会費 5000 円とし、年度初めに納めます。  
会員には、1) の刊行物 3 冊を刊行の都度、無償で進呈します。会員外の希望者には、①～③セット、もしくは①～④セットの実費頒価で送付します。
- 6) 資料集刊行完結後、友の会主催で完結を記念して展示会と講演会・シンポジウムを

掛川市および近隣の市で催します。会員はこれを応援・参加します。

7) 入会は毎年度はじめの例会時に受け付けます。ただし、2年目以降の入会者は、会費を初年度にまで遡って納め、刊行物3冊の寄贈を受けます。退会を希望する場合は随時申し出て下さい。お申し出がなく、年度はじめに会費の納入がない場合も退会と見なします。

8) 会の期限は2015年4月から資料集の刊行が完結し、記念の展示会と講演会が終了する2021年3月までの6年間とし、以降は会員の皆様と相談して継続の可否を決めます。

#### 月例会要項

イ) 月例会は毎年1月と8月を除く10回、毎月第3日曜日の午後2時～5時とします(Ⅰ部とⅡ部の間に休憩10分を取ります)。

ロ) 会場は原則として掛川市立中央図書館の会議室を借用します。

ハ) 月例会は、2時～3時50分のⅠ部では活字のテキストを使用し、4時～5時のⅡ部では原本の複写をテキストに使用します。Ⅱ部は自由参加とします。テキストは事務局で用意します。作品読解・鑑賞だけでなく、嵐牛らが書いた写本や墨蹟などを味わうために、この機会を是非ご利用下さい。Ⅱ部に参加する方には「変体仮名一覧表」1枚をコピー配布します。参考書として、『五體字類』西東書房刊(アマゾンで、中古品なら1500円前後で買える)の常備をお勧めします。

ニ) 講師は以下の3名が担当します。

嵐牛とその門人 …講師 倉島利仁・加藤定彦(各年4回)

依平と国学・和歌…講師 高松亮太(日本学術振興会特別研究員)(年2回)

以上

## プログラム

- ① 『嵐牛発句集』原本の解説と講読・鑑賞
- ② 『そのまま集』原本の解説と講読・鑑賞
- ③ 依平紀行文『道の記』原本の解説と講読・鑑賞  
\*①～③の原本解説は自由参加です
- ④ 嵐牛、依平等の掛け軸、懐紙等の解説と鑑賞
- ⑤ その他、例会を進めた上でご希望を伺い、決定致します

## 一回目のプログラム(4月19日)

- ① 会長挨拶
- ② 嵐牛および嵐牛蔵美術館の概説
- ③ 友の会の趣旨と活動内容の説明
- ④ 初年度月例会の活動内容の説明
- ⑤ 次回分のテキストの配布、具体的なⅠ部講読・鑑賞の進め方  
Ⅱ部原本解説の進め方及び参考文献の紹介  
\*内容の変更があるかもしれません。ご了承ください。

## 申込書についてのご案内

- ① 御名前は、ご夫婦で入会の方は連名でお願いします。  
ただし会費は一名分です。
- ② 申込書は郵送、FAX、メール等で事務局にお送りください。
- ③ 入会に迷っている方は、その旨を記して申し込み、  
4月19日の一回目の例会終了後に入会をお決めください。
- ④ メールアドレスは今後の連絡に使いますので  
Eメールをご利用の方はご記入ください。

## 申込書

御名前	
御住所	〒
TEL	
FAX	
メールアドレス	

## ご意見記入欄

ご意見・ご希望がございましたら、以下にご記入ください。